

官民共創モデル事業リバーズピッチ

女性に選ばれるまちへ！

豊かな自然と新しいキャリアが両立する

『せいのスタイル』共創プロジェクト

2026年7月21日

愛媛県西予市 政策推進課

主任 藤田 早紀





愛媛県西予市(せいよし)です

1,400mの高低差が育んだ奇跡のまち

地域と産業

標高差は海拔0mから1,400mに及ぶ。
面積は約514km²と県内第2位の広さ。
海・里・山が育む産品は、みかんのほか、魚介類
や米、ブドウ、栗、乳製品、牛肉類など全国でも
有数の多品目産地。

アクセス

松山市から車で1時間。





目指す「まちのビジョン」

女性が「自分らしいキャリア」を実現できるまち

西予市の重点施策

3本柱

- 人口減少対策
- 防災・減災対策
- 医療・福祉改革

目指す未来の姿

豊かな自然と温かな人のつながりに恵まれた西予市。安心して子どもを育てられる環境と地域の支え合いを基盤に、**多様な働き方と自分らしいキャリアを実現**できます。

海・山・里の豊かな環境に癒やされながら、都市部に行かなくても挑戦し、自立して活躍できるまちです。暮らしやすさと働きがいと調和し、一人ひとりが輝く新しい時代の地方の姿が、西予市で実現しています。

官民共創で取り組みたいテーマ



女性がライフステージに縛られず、
自身の能力を発揮できる

『地方独自の新しいキャリア
・多様な働き方の仕組み』づくり

成果目標

新たなロールモデルの輩出 5件



データでみる「せいよ」の現状

人口減少

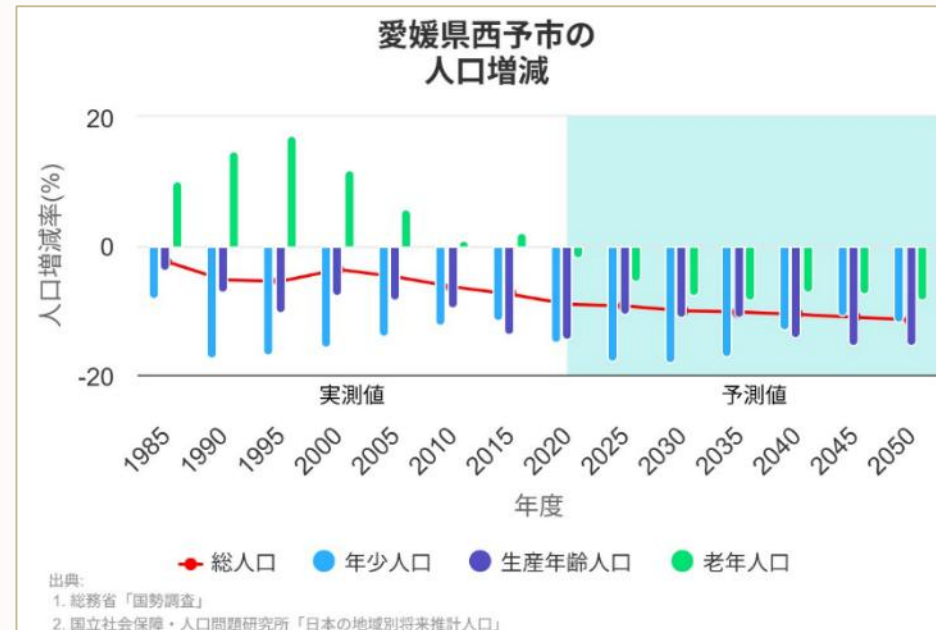
自然減

社会減

人口減少

西予市の人口減少には自然減・社会減の双方が影響している。

31,551人 → **18,200人** (2050年推計)



データでみる「せいよ」の現状

人口減少

自然減

社会減

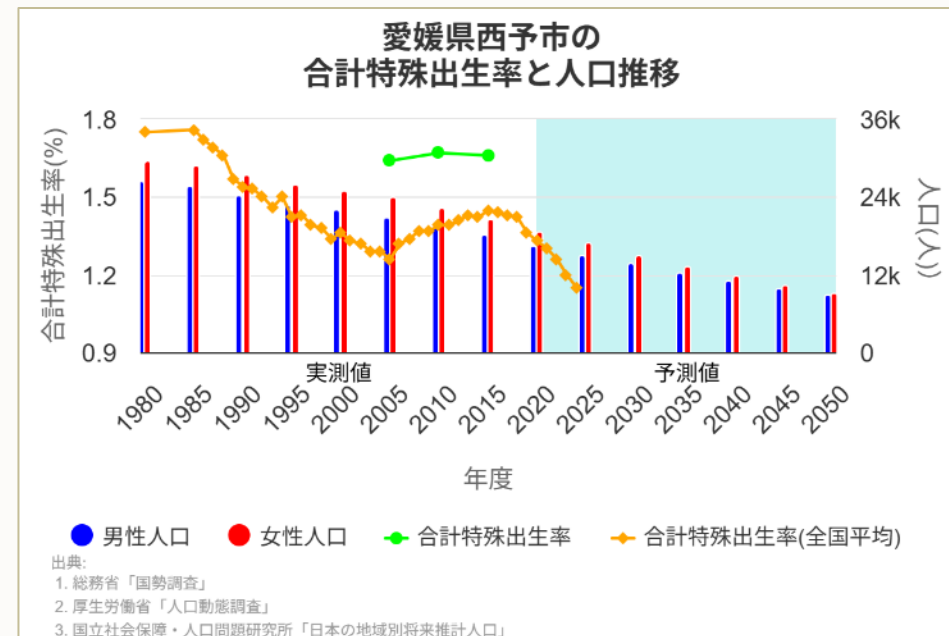
自然減

一貫してマイナス傾向、出生数の減少と死亡数の増加が主因。

一方で・・・

合計特殊出生率 **1.6台** (全国平均1.4台を大きく上回る)

女性の未婚率 **33.66%** (全国平均39.52%より大幅に低い)





データでみる「せいよ」の現状

人口減少

自然減

社会減

社会減

15歳～24歳の進学・就職期に、**毎回数百人～千人規模の転出超過**。特に松山市をはじめとする都市部への流出が顕著。

特に女性の転出について、**都市部志向が強い傾向**。「女性の絶対数」が失われている現実。

つまり西予市は・・・

自然減(出生・死亡)の改善は限界
しかし、社会減(転出抑制・移住定住)は『選択肢』
さえあれば改善できる可能性を秘める

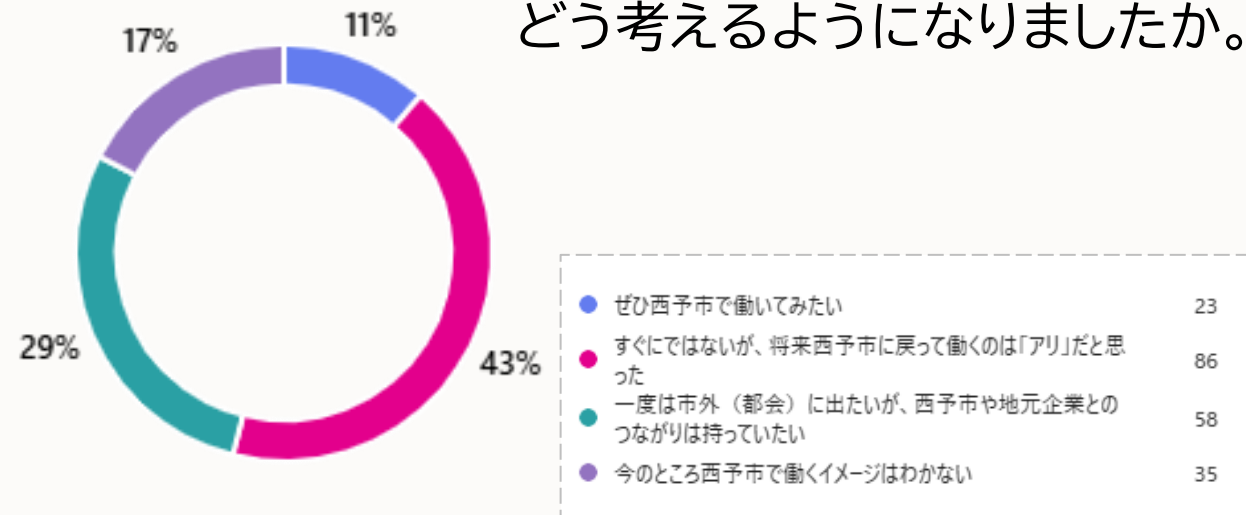


郷土愛(シビックプライド)のバトン

～中学生から続く「持続可能なUターンモデル」～

- ✓ 令和6年度から実施している中学生を対象にした、「合同企業説明会」や地元で働く大人との「座談会」
- ✓ 令和7年度からは「農林水産業の体験プログラム」を実施
早期から郷土愛を醸成

Q.合同企業説明会に参加して、「西予市で働くこと」についてどう考えるようになりましたか。



令和8年度合同企業説明会実施後中学生アンケートより

西予市に戻って来ることを**選択肢**にできるように・・・

「生活・子育て支援」の土台から、 その先にある「キャリア選択肢」の共創へ

生活を支える安心の土台

心地よく暮らせる、街のポテンシャル

「暮らし・子育てサポート」の充実
のびのびと自分らしく過ごせる環境

それなのに・・・

進学・就職を機に女性が都市部へ流
出



👉 Next Plan...

『せいよスタイル』の確立

魅力的なキャリアの選択肢を

女性がライフステージに縛られず、個人
の専門性や能力を発揮できる『新しい働
き方』の仕組みを共創。

「生活・子育て環境」×「キャリア」= 女性に選ばれる新しい地方の生き方



行政単独で人口減少対策に取り組んで・・・

2022年

せいよ将来人口究明
&対策プロジェクトの発足

：（その間、部署横断的に事業検討）

2024年

プロジェクト発案事業のスタート

行政単独の「壁」

- × 生活・子育て環境の支援がメインに
- × 都市部のビジネス・最先端の働き方との「ネットワークの壁」
- × 多様化する現代の働き方に対する「専門ノウハウの壁」
- × 単なるスキル習得に終わらせない「『稼ぐ出口』までの伴走力の壁」

行政単独の「壁」を官民共創の「起爆剤」へ！

西予市の応援パッケージ①



田舎の人は世話好き
人として大事にしてくれ
挑戦を応援してくれる

女性活躍が地域社会
で『当たり前』になる
ことが重要



ロールモデルとの共奏

すでに地域にいる生き生き
と働く女性たちからのリアル
な声・後方支援



車は必須だが、満員
電車などのストレス
は皆無

田舎ならではの顔の見える「ゆるやかな横のつながり」を
形成しながら、後方支援が可能です





西予市の応援パッケージ②

満員電車・人ごみのないストレスフリーな環境が実証フィールドです！

低リスクでの事業展開

都市部に比べて固定費(家賃等)を安く抑えられ、ストレスフリーな環境でリモートワークや起業が可能

「不自由さ」や「デメリット」を武器に

人口減少や高齢化、不便さを逆手に取り、独自のストーリーとして発信することで、都市部や全国のファンを獲得できる土壌

挑戦できる「市場の余白」

地域の需要に対してプレイヤーが不足している領域(余白)が多く、新しいビジネスや価値を創出しやすい環境

地域づくり組織の協力

地域づくり活動センターを拠点とした27の地域づくり組織があり、理解・協力を得やすい環境



共に挑む「共創パートナー」の要件

歓迎する要件

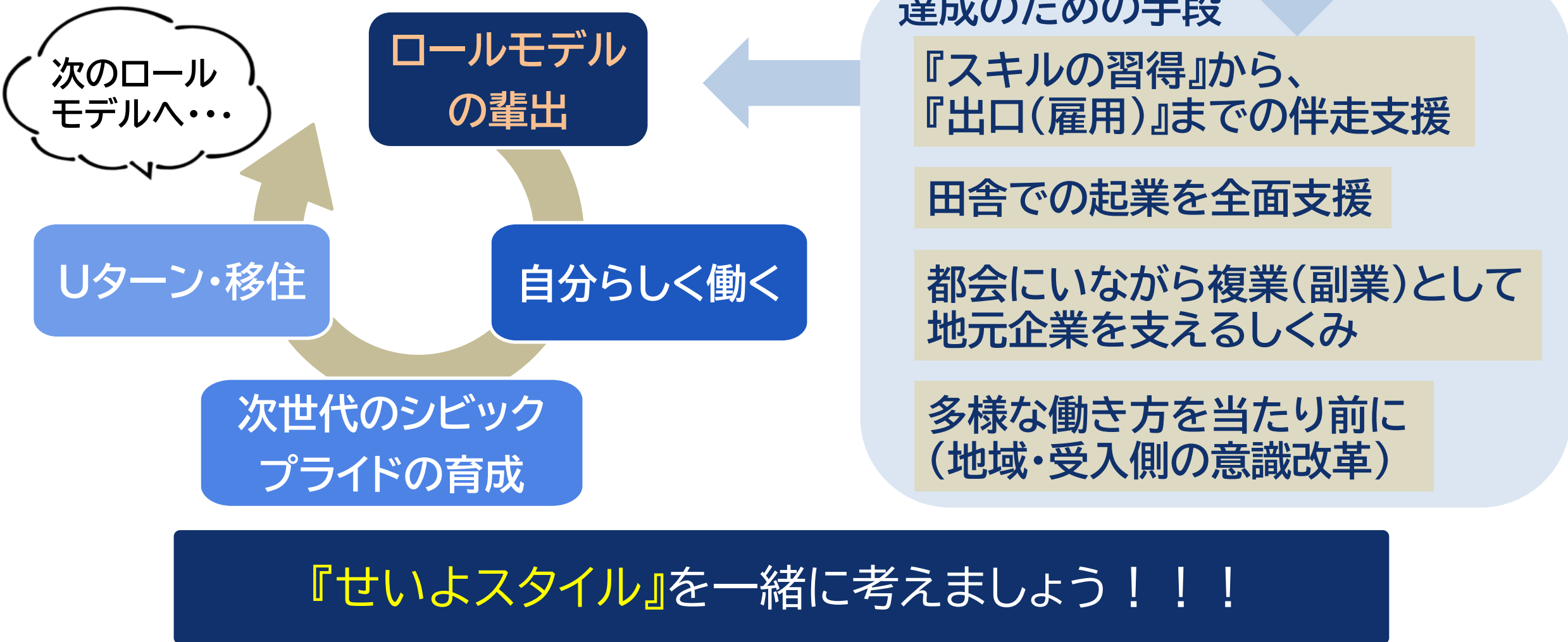
- すでにあるロールモデル、既存コミュニティ、地元事業者などの「現場のリアルな声」に寄り添うことができること
- 「新しい働き方」の仕組みを共創できること
- 「リモートワークが可能な企業」「副業・兼業を求めているIT・クリエイティブ企業」などとのつながりがあること
- 若年層(20代～30代)に届くマーケティング・発信力があること

求めないこと

- 多額の初期投資を伴うもの
- 単にデジタル・ITスキル等の習得を支援するだけのもの

共創から生まれる循環型の『せいよスタイル』

官民共創に
よるアイデア





ご清聴ありがとうございました

西予市とのパートナーシップに関心をお持ちの皆様からの、
積極的なご提案をお待ちしております。
あなたのアイデアをお聞かせください！

問い合わせ先

愛媛県西予市 政策推進課 担当: 藤田 早紀

TEL 0894-62-6421

Mail seisakusuishin@city.seiyo.ehime.jp



西予市イメージ
キャラクター「せい坊」